25. 実用性 Practicality

あなた自身の内成る神性を見せてくれるものに魅せられたり、囚われたりしてはいけません。その代わりに道に、神性に至る道の上にとどまりまりなさい。

非常に暗い夜、森のなかで道に迷ったふたりの人のことを聞いたことがある。それは非常に危険な森だった。野獣がたくさんいて、しげみは深く、まわりじゅうが闇だった。

ひとりは哲学者で、もうひとりは神秘家だった――ひとりは疑いの人で、もうひとりは信頼の人だ。突然嵐になり、雷鳴(らいめい)がとどろき、すさまじい稲妻が走った。稲妻が光るその瞬間に、哲学者は空を見たー

あなたは、この物語の森よりもさらに深い森のなかで道に迷っている。夜はさらに暗い。ときとして稲妻の一閃(いっせん)がやってくる――道を見るがいい。
荘子のような人は稲妻だ。覚者は稲妻だ。私は稲妻だ。私を見てはいけない、道を見なさい。もし私を見たら、あなたはすでに逃している――稲妻は一瞬の間しかつづかないからだ。永遠が時間を貫く瞬間はめったにな

道を見なさい.....道に従いなさい。
THE EMPTY BOAT, pp.127-128

Revision #4
Created 4 October 2024 06:03:49 by ゆう
Updated 24 October 2024 07:04:21 by ゆう